

# 河南町第四次総合計画 概要版

豊かな自然と文化  
ともに創る笑顔あふれる元気なまち



## ごあいさつ

少子高齢化や環境問題などの課題を抱え、また地方分権が進展する中で、わが町は、住民の皆様との協働による地域に密着したまちづくりを進める必要があります。このような時代の流れを踏まえ、新たなまちづくりの指針として、このたび第四次総合計画を策定いたしました。

この計画に基づき、将来像「豊かな自然と文化 ともに創る笑顔あふれる元気なまち」の実現に向けて取り組んでまいります。一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、計画策定にあたり闊達なご審議をいただきました町議会議員の皆様、総合計画審議会委員の皆様、貴重なご意見をいただきました住民の皆様にご心から感謝申し上げます。

河南町長 武田勝玄

## 策定の意義と目的

### 時代の流れ

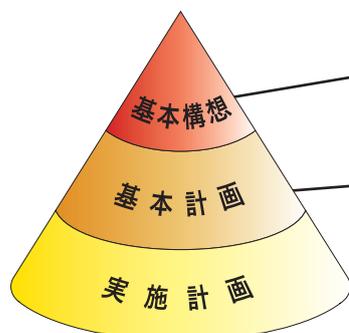
昭和54年以降の三次にわたる総合計画に基づき、豊かな自然と歴史を活用したまちづくりを進めてきました。近年、少子高齢化やグローバル化などの大きな変化がみられ、さまざまなニーズに対応したまちづくりが求められています。また、地方分権が実行段階をむかえており、市町村は自主的、自立的なまちづくりを求められています。

### 計画策定の目的

本計画は、時代の変化に対応し、将来の河南町にふさわしい魅力あるまちづくりを協働により推進するため、めざすべき将来像を掲げ、その実現に向けた基本的な方向と施策内容を明らかにすることを目的として策定するものです。この構想は、町政運営を総合的に行う基本的な指針となるものであり、住民や各種団体、事業者などが積極的、主体的に取り組むを進めていただくうえでの共通の指針となるものです。

## 計画の構成と目標年次

### 計画の構成



まちづくりの基本理念と将来像、その実現に向けたまちづくりの基本方針を示したものです。

基本構想に定めた基本方針により、まちづくりの主要施策の内容を示したものです。

基本計画に定めるまちづくりの主要施策を実行するための事業計画です。

### 目標年次

基本構想及び基本計画の目標年次は、おおむね平成32年(2020年)とします。

## 新しいまちづくりの視点



## まちづくりの目標

### 基本理念

新しいまちづくりの基本理念を、みどり(緑)、きずな(絆)、つなぐ(継)の3つとし、輝く河南町を創造します。

みどり  
「緑」

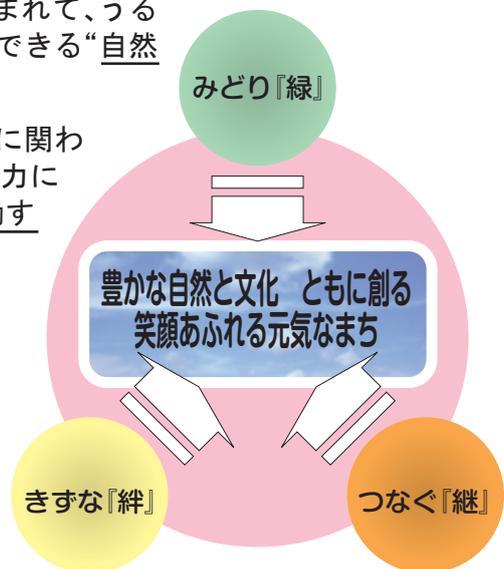
葛城山や田園風景の景観など、豊かなみどりに囲まれて、うるおいと安らぎに満ちた健やかな生活を送ることができる“自然と共生するまち”をめざします。

きずな  
「絆」

住民、ボランティア、事業所、大学、行政など、まちに関わる誰もがまちづくりの主役です。相互の理解と協力によって築かれたきずな(絆)を尊重し、“ともに協働するまち”をめざします。

つなぐ  
「継」

先人から引き継いできた歴史や文化、芸術。これらの地域資源に自信と誇りを持ち、世代間、地域間の交流から新たな文化を築いていくとともに、次代のまちづくりの担い手となる子どもたちに受け継いでいく“次代に生きるまち”をめざします。



### 将来像

豊かな自然と文化  
ともに創る  
笑顔あふれる元気なまち

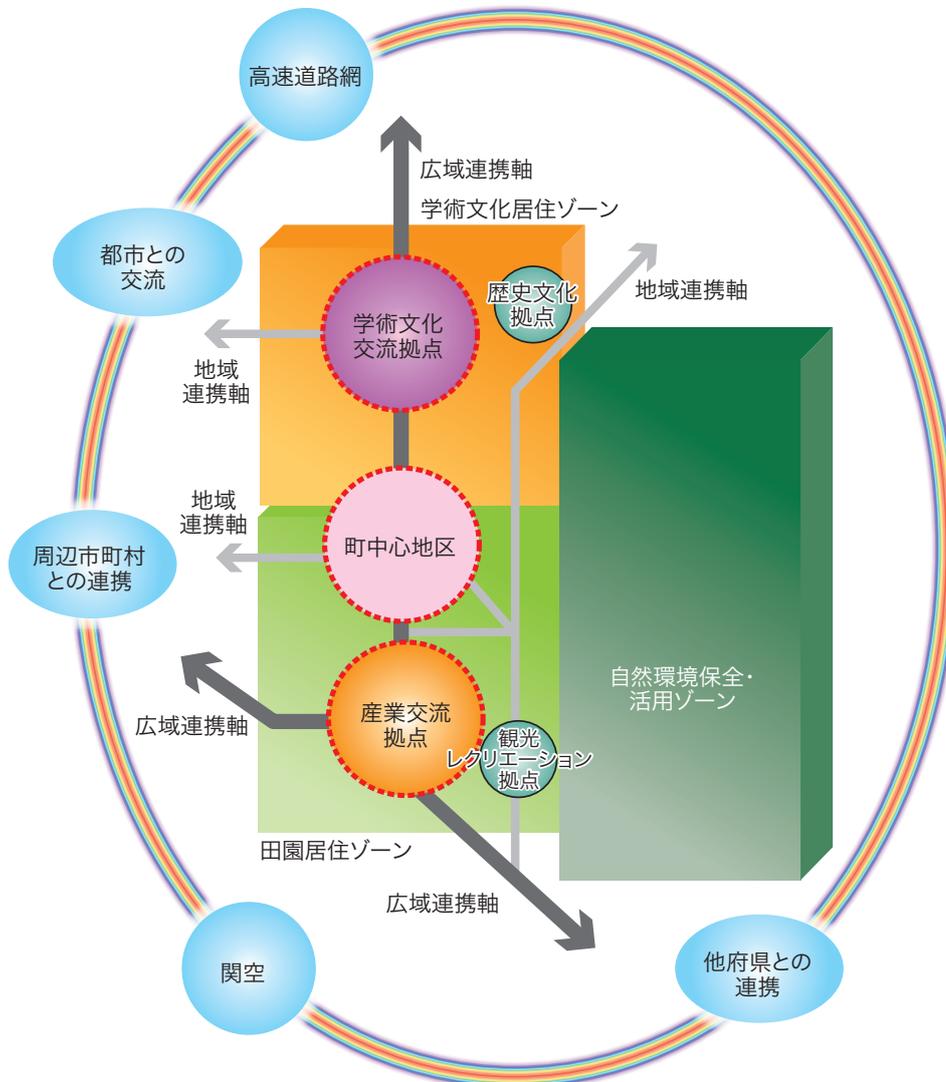
豊かな自然環境や長年にわたって培われてきた伝統、文化などの地域固有の資源、人と人とのつながりをいかして、住民、事業者などと行政が協働しながら、子どもから高齢者までのすべての住民が笑顔あふれる元気なまちをめざします。

### 将来人口フレーム

都市的な生活の実現と子育て、教育、文化施策など、安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、魅力ある河南町として人口定着に努めることとし、平成32年(2020年)の目標人口を18,000人とします。

## 将来都市構造

将来像「豊かな自然と文化」とともに創る笑顔あふれる元気なまち」を実現するにあたっての基本的な考えとして、まちの骨格を形成する地域形成の基本方向(将来都市構造)を設定し、まちづくりを進めていきます。



### 都市軸(まちづくりの骨格)

広域連携軸と地域連携軸を設定し、それらが交流する接点には、まちづくりの骨格となる拠点を配置します。

#### <広域連携軸>

国道309号や主要地方道柏原駒ヶ谷千早赤阪線の広域的機能の充実に努めます。また、大阪市中心部や関西国際空港などと接続する高規格幹線道路や新しい交通システムを検討し、広域的な交通網の整備を促進します。

#### <地域連携軸>

広域連携軸の補助的役割を担い、町内の各拠点や集落などを結ぶ道路を地域連携軸とし、本町の地域資源をいかした各拠点の整備、日常生活の利便性やアクセスの向上を図ります。

## 拠点形成

### <学術文化交流拠点>

大阪芸術大学を本町の学術文化の中心とするとともに、町北部の拠点として生活環境の充実や生活利便性の向上に努めます。

### <町中心地区>

町役場を中心に、行政、文化をはじめ各種施設の集積を図り、行政機能などの中心地区を形成します。

### <産業交流拠点>

広域連携軸の結節点を中心に商業施設の集積などを図るとともに、町南部の拠点として産業振興、都市住民との交流を促進します。

### <歴史文化拠点>

近つ飛鳥博物館が立地する歴史文化特性をいかしたまちづくりの拠点の形成を図ります。

### <観光レクリエーション拠点>

ゴルフ場や弘川寺歴史と文化の森などの一帯では、都市住民との交流を図る拠点を形成します。

## ゾーニング(土地利用の基本的な枠組み)

### <学術文化居住ゾーン>

大阪芸術大学とその周辺地域一帯は、優れた住環境を創出するとともに、学術、文化、交流のゾーンとします。

既成市街地では、快適な住環境を整備し、広域連携軸沿道では、住民の生活利便性の向上に努め、また、周辺の農地では、優良な農地を保全します。

### <田園居住ゾーン>

都市近郊農業を中心とした農地が広がる農空間や集落地を中心とした地域、丘陵部に広がる新市街地など、自然や農業と住民生活が調和したゾーン形成を図ります。

役場周辺では、町の中心地区を形成し、山間部の田園風景などは、その保全に努めます。集落地では、生活環境基盤を充実し、新市街地では、良好な住環境の保全と増進に取り組みます。広域連携軸の沿道では、地域経済の活性化につながる土地利用を推進し、土取り跡地などでは、自然環境に配慮した土地利用の誘導に努めます。

### <自然環境保全・活用ゾーン>

金剛・葛城山脈に連なる森林と丘陵部では、自然環境の保全と活用を図ります。

みどり豊かな森林の保全に努めるとともに、自然や歴史的環境をいかしたレクリエーション施設の活用を図り、憩いの場の提供と都市住民との交流を図ります。

# 施策体系

## 基本理念

基本理念を、みどり(緑)、きずな(絆)、つなぐ(継)の3つとし、より高い利便性を実感できる生活環境の充実、葛城山系の豊かな自然環境や各種の恵まれた文化、歴史環境の活用、まちづくりに関わるすべての人の協働と町内外の交流によるまちづくりを展開し、輝く河南町を創造します。

**みどり** 緑

自然と共生するまち

**きずな** 絆

ともに協働するまち

**つなぐ** 継

次代に生きるまち

## 将来像

豊かな自然と文化  
ともに創る笑顔あふれる元気なまち

まちづくりの  
推進に向けて

協働のまちづくり

健全な自治体経営の推進

## 施策の体系

一人ひとりが輝く  
まちづくり

子どもたちの笑顔  
あふれるまちづくり

安全で安心して  
暮らせるまちづくり

快適な生活基盤の  
充実したまちづくり

美しい水とみどり豊かな  
にぎわいのあるまちづくり

## 施策

人権尊重・平和の推進  
男女共同参画社会の実現  
国際交流の推進  
ボランティアなどの住民活動の促進  
生涯学習の支援  
文化・芸術の振興  
歴史的風土の継承  
スポーツ・レクリエーション活動の推進  
情報化の推進  
心豊かなコミュニティの形成

子育て支援の充実  
教育の充実  
家庭と地域における教育機能の充実  
青少年の健全育成

地域福祉の充実  
高齢者福祉の充実  
障がい者(児)福祉の充実  
保健・医療の充実  
災害・危機に強いまちづくりの推進  
消防・救急体制の充実  
消費者保護と雇用対策の充実

快適な道路の整備  
地域公共交通の利便性の向上  
安定的な水の供給  
下水道の整備  
河川の整備  
交通安全対策の充実

みどりの保全と創造  
環境保全・美化の推進  
資源循環型社会の形成  
美しく魅力的なまちの形成  
良好な住環境の整備  
商工業の振興  
農林業の振興

(1) 広報、広聴活動の充実  
(2) 協働によるまちづくりの推進

(1) 総合計画の推進体制  
(2) 効率的な行財政運営  
(3) 広域行政の推進

## 大阪府 河南町

編集・発行／河南町総務部企画財政課  
大阪府南河内郡河南町大字白木1359番地の6  
HP <http://www.town.kanan.osaka.jp/>  
●平成22年3月